# 吾妻・西吾妻山～若女平下り

記　T野

（天元台スキー場積雪210㎝）

2020年3月7日

メンバー：T野・Ｉ崎・Ａ原・Ｙ科・Ｔ中Ｍ・Ｔ山

過去にない小雪・暖冬の今年だが木～金曜日に久しぶりに寒波が入り山にも少し雪が積もったようだ。しかも土曜日はテンクラ（山の天気の情報サイト）がＡ！！これはチャンスだ。きっと標高が高い北斜面なら晴天の下、今年最後になるかもしれないパウダーが楽しめそうだ。

さらにアイスモンスター！！（樹氷のことを最近はこう呼ぶらしいが・・・）これも見れるとすれば暖冬だった今年は今週あたりがきっとラストチャンスになるだろう。アイスモンスターは雪がビシバシ降って、風もビュービュー吹いて、ギンギンに冷え込む、およそ人が住めないような場所に針葉樹林帯がないと見ることができない。しかも気温が一気に上がったり季節外れの雨でも降ればあっという間に消滅してしまう果敢ないものだ。つまり、厳冬期なら必ず見られるというものではなく、思った以上にレアで今年のような暖冬の年は、なおさらエリアとタイミングが非常に重要になってくる代物なのだ。

これらの厳しい条件を全てクリアして、見事なアイスモンスターを見られる屈指なエリアとして知られているのが西吾妻山周辺である。「年に1回はこの景色に触れたい！！」という気持ちを常に持っている私に対して今回の天候と条件・・・、それに待ってましたとばかりにパクっと反応してしまう私は言ってしまえば「パブロフの犬」ようなものなのだ。

***■写真上　氷結した深閑の森。***
***■写真中　銀屏風のような飯豊連峰。***
***■写真下　稜線はアイスモンスター地帯。***

今回、その「パブロフの犬」が時期と気象条件を総合的に深読みしてパウダーとアイスモンスターが両方楽しめると踏んでパクっと反応してしまったこのルート、さて、いかがだったでしょうか？下記、報告です。

米沢といえば以前はかなり遠いイメージがあったが高速が繋がったことで一気に行けるようになり東京からは約4時間、意外に近い。しかも福島から先は無料区間！！という嬉しいおまけつき。新しくできた道の駅「米沢」は米沢中央ＩＣを出たところにあり非常に便利。キレイでテントを張らなくても仮眠できるが電気が煌々と明るく消すことはできないので気になる人はアイマスクを持参することを薦める。

8:00始発のロープウェイに乗るつもりで早めに出たつもりが自然現象等もありバタバタ。何とか2番目のロープウェイに乗ることができたが落ち着いて事にかかりたい私にしては非常にあわただしい。ここがスムーズにいくかどうかがある意味このルートの核心部といえる。その後リフトを3本乗り継ぎスキー場トップへ、標高はすでに1800m！！辺りの木々の枝には氷の花が咲き誇り青空に映えてすでに十分美しい。アプローチでそれなりにお金もかかるが（¥2500）ここまで来れば山頂までの標高差はわずか200m！！労せず登れることを考えれば安いものだ。あとは天気と条件が良ければスキーでも歩きでも気軽に大展望とアイスモンスターを堪能できるのだ。もちろん、今回もバッチリ読みが当たった。パクっと反応した甲斐があった。早速シールを張って9:15にゲレンデトップを出発する。

最初からキーンと音がしそうな氷結した森の中を歩く。稜線まではルートを示すロープがずっと張られていて潜ったり跨いだりでけっこう鬱陶しいが視界がない時でも安心して歩くことができるようになっている。去年来た時はこんなのなかったような気がするのだが安全対策の一環か・・・？

***■写真上　アイスモンスターアップ！！***
***■写真中　西吾妻に向かうアイスモンスター地帯***
***■写真下　西吾妻山頂が見えてきた。***

ひと登りで稜線に出るといよいよ真打登場！！アイスモンスターの群れに圧倒される。正面には吾妻の茫洋たる白い山々の連なりが・・・振り向けば堂々たる風貌の飯豊の銀屏風が・・・それぞれ群青の空に映え、他に類のない絶景を惜しげもなく見せてくれる。イヤー、幸せだなー。メンバー全員の顔が思わずほころび寝不足の疲れもぶっ飛ぶ。

特に西吾妻山直下のアイスモンスター群はスケールが大きく、まるで完全氷結したジュラシックパークに迷い込んだような感覚だ。誰でも見られる景色では決してない。初見ではない私でさえ舞い上がってしまうこの景色。初めてこの光景を目にした人はきっと感動で言葉を失うだろう。山をやっていて良かったと思える瞬間がここにある。

10:25、西吾妻山頂着。この時期にしては信じられない無風快晴！！テルモスのココアよりも冷たい飲み物の方が美味しく感じる。ここまでは事前の読みが大当たり。早速東面をひと滑りすることに・・・。

傾斜は緩く雪質もややパック気味だがロケーションは抜群！！100mほど落として梵天岩と西吾妻の鞍部に向かって純白と紺碧の世界を登り返し、若女平を目指して再び滑降開始。暖冬、小雪の今年、さすがに雪不足は否めず、最初は樹林が濃く雪が地形を埋めきれず面ツルというわけにはいかない。それでも北斜面とあって雪質は最高、周りをよく見て樹間の広いところを見つけられればまあまあ気持ち良く滑って行ける。夏道の左側の沢が比較的広いスペースが得られて快適だ。ただ、それも長くは続かず、小雪ゆえに早くも沢が口を開けだし早々に右岸に渡りトラバース気味に滑降するようになる。あと1m雪が欲しいところだ。こうなると滑りの楽しさはもはやなく、ただただ標高を落としていくだけとなる。

（天元台スキー場の積雪が例年通り3m以上あれば沢沿いを傾斜が緩くなる辺りまで滑っていても右岸の尾根に滑り込むことは問題なく可能なのでスペースの広い沢沿いを滑った方が楽しい。）

できるだけ標高を落とさないように沢の右岸をトラバース気味に滑り、尾根に再び乗るとやがて傾斜がなくなり若女平に入る。いつもは白樺林と雪原が美しい若女平だが、今回はブッシュが多く雪原というにはやや毛深く標高が落ちてきた事もあり雪も重くなってくる。若女平で一本取って後半戦に備える。

***■写真上　西吾妻山頂直下のアイスモンスター地帯！！***

***■写真中　飯豊連峰バックに西吾妻山頂で記念撮影！！***

***■写真下　西吾妻山東面の楽しい滑降！！***

ここからはどちらかといえば修行系。重い雪をかき分けて滑り、右の尾根に迷い込まないように注意深くルートを採る。やがて核心の痩せ尾根、いつもなら一気に滑りこんでしまうが今年は障害物が多く慎重に痩せ尾根を越える。Mさんが途中で転倒して見ている方が肝を冷やしたが本人はどっしり落ち着いて対処、焦りや恐怖感はなかったようで一安心。さらに薮の濃い尾根を滑り最後は急斜面を沢に向かって横滑りを多用して慎重に落ちていく。後半戦は結構気を使ったが何とか無事に降りて14:05無事下山。私とＩ崎さんでデポした車を取りに行き本日の行動は終了。小野川温泉のいつもの宿に向かい後は米沢ラーメン、温泉、宴会といつもの楽しい時間が流れた。

■コースタイム
リフトトップ（9:15）～（9:35）稜線～（10:25）西吾妻山（10:40）～東面滑降～梵天岩と西吾妻山の鞍部～（12:30）若女平（12:55）～（14:05）車道

***■写真上　薮の濃い若女平***
***■写真中　核心の痩せ尾根を滑降！！***
***■写真下　西大嶺への登り。***

# 吾妻・グランデコ～西大嶺～南西尾根～デコ平

（グランデコスキー場積雪200cm）

2020年3月8日

朝から小雨がぱらつきモチベ―ションが上がらないが折角ここまで来たので雪に変わることを期待してグランデコスキー場に向かう。国道121号は路面に雪は全くなく非常に走りやすい。途中コンビニで朝食を採っても約80kmを1時間半でグランデコスキー場に到着。一番上のリフトが動くのが9:30なのでしばらくベースで寛いで9:00過ぎにゴンドラに乗る。ゴンドラとリフト1本乗り継ぎ（¥1500）スキー場トップに上がり準備して10:00に出発。ここまで来てかろうじて天気は雨から雪に変わる。昨日のような快適さはないが歩いてみれば氷結した森は幻想的でそれなりに楽しい。

効率よく高度を上げ、11:20西大嶺着。西吾妻山まで行っても快適でないことは目に見えていたのでここから南西尾根を滑降することにする。視界がなく密林で雪は生コン、我慢の滑降が続く。200m位落とすと樹間が広くなり少しは楽しめたが傾斜が緩いうえストップ雪なので全体的には快適とは程遠い。さらに西に寄り過ぎたため1450m付近からは1㎞近くの大トラバース。イヤイヤ大迂回ルートを作ってしまって疲れた。以前に来た時に東側に寄り過ぎて上部でゲレンデに出てしまったことがありその経験から西寄りを意識して滑ったのだが今度は西に行きすぎてしまった。何とかシールを付けずにデコ平付近でゲレンデに戻ることができたが広い尾根で思い込みもありルーファイに失敗してしまった。雪が良ければここも楽しいルートなのだが今日は体力トレーニング、でもそれなりに楽しかったので行って良かった。

帰路は中の沢温泉の「リゾートインボナリ」で温泉に浸かって磐梯熱海の人気店「ラーメン工房味噌屋」で美味しい味噌ラーメンを食べ、コロナの影響でガラ空きの東北道を順調に帰京。

当初の目的のアイスモンスターと雄大な景色、それに東北のひなびた温泉は初日で満喫できたので二日目はおまけみたいなもの。合わせ技1本で充分満足な山行でした。

■コースタイム

リフトトップ（10:00）～（11:20）西大嶺（11:35）～（13:35）デコ平～（11:45）ゲレンデベース

***■写真　西大嶺山頂にて。***